

健康安全力部会

市民憲章とのかかわり（部として実現をめざしていく項目）

2 こころとからだをきたえ 文化のかおるまちをつくりましょう

15歳の浅江っ子像（育みたい児童像）

- 地域が大好きな子ども（郷土愛）
- 自分に自信がもてる子ども（自己肯定感）
- 人とつながり・ふれあう子ども（人間愛・絆）

学校教育目標

人権尊重を基盤とした、豊かな心と社会の変化に主体的に対応できる知恵を備え、
気づき・考え・行動できる「浅江っ子」の育成

1 部の視点



心と体を大切にすることの育成 ～知って 守って 育てる～

2 令和元年度の取組の振り返り（○、▲）と令和2年度に向けて（☆）

校内部会

①浅江っ子体力向上プロジェクト

○浅江っ子の課題である調整力の向上を中心とした取組について、登り棒のペンキ塗りや各遊具をレベル形式で楽しく実施できる取組などの準備を進めた。

☆各遊具の遊び方について具体的な提案をしていく。

☆各遊具の環境整備を行っていく。

○ラジオ体操MAPは新1年生と転入児童向けに、地区ごとの開催場所がわかる形で7月に配付した。

②あさなえしゃべり場

○第1回目を6月19日に「家族みんなで生活リズム向上 早寝早起き朝ごはん」と題し、基本的な生活習慣の定着を図るために、小中合同開催をした。18名の参加者だった。

○2回目は12月12日に「見つめよう！子どもの生活習慣」と題し、給食試食会を兼ね実施した。23名の参加者だった。

△☆児童数の割に参加者数が少なく、参観日や懇談会の日を利用して調整できるともっと参加者が増えるのではないかと。

○OCSの地域の方とも話ができる機会となりよいという参加者の意見があった。

○児童の普段の様子（給食時）を参観でき良かったという意見が多くあった。

○☆1年時の給食試食会以外、試食する機会はしゃべり場だけなので大切にしたいと思う。

④安全・安心の登下校

(子ども一班長旗の使い方や横断歩道の渡り方、定期的な一斉下校の実施、班長会議の実施)
(教員一下校時の様子を見守る体制の構築)

○交通担当から全校集会や校内放送で全校へ指導したことで一人ひとりが意識して行動できるようになってきた。(子ども)

○登下校の教職員による見守りが増え、多くの目で子どもたちの様子を見ながらその場で指導できた。(教職員)

▲学校として指導していることを見守り隊や家庭と連携しながら進めていく必要がある。

☆地域や家庭との連携をどう進めていくか。

⑤浅江っ子防犯デー

(防犯ブザーの重要性を子ども・保護者に知ってもらう機会の設定および定期的な呼びかけ)

○月の始めに防犯ブザーの点検があることを子どもたちが意識できるようになり、防犯ブザーも揃ってきている。

○電池がなくなっていた子もいたので、月に1度調べることはとても大切である。

▲防犯ブザーを持ってくることができない子どもは決まってきた。

☆継続しながら全員が防犯ブザーを揃えるための手立てを考える。

⑥交通教室

実施学年と時期、学年の検討(県警の交通教室も活用可)

○今年度は3年生と4年生で実施したが、今後も実際に乗ってみることで指導は充実するものである。

☆保護者にも呼び掛けて来ていただけないか。

☆学校(学年)行事に位置付け、CSの活動と切り離して実践する。

保護者部会より(令和2年度にむけて)

①浅江っ子体力向上プロジェクト

☆浅江っ子の課題である調整力の向上を中心とした取組について、低学年などには賞状を渡すなどご褒美があるとやる気が出るのではないか。

☆体のどの部分が鍛えられるか提示(看板やプリントなど)するとわかりやすくて良い。

☆業間体育など全校体育の機会を作ると継続する力がつくのではないか。

▲ラジオ体操MAPの開催場所が違っていることがあった。→毎年子供会に確認している。

②あさなえしゃべり場

☆参観日や懇談会の日を利用して調整できるようにする。

☆給食試食を兼ねたしゃべり場を開催していくとよい。

③安全・安心の登下校

○以前に比べあいさつをする子どもが増えてきている。あいさつリレーの取組みがよい。

○班によってちがいがあがるが概ねすべての登校班で安全に登校できている。

▲あいさつリレーがなくても集まってすぐにあいさつを交わせる関係になっていくとよい。

▲荒天時の対応について学校で統一した取り決めがあるとよい。子どもは臨機応変に行動するのは難しい。

▲これから春になるので不審者対応について何かできないか。

☆今後も引き続き登下校について保護者と地域と一緒にできる取組について考えていきたい。

企画委員会より（令和2年度にむけて）

①浅江っ子体力向上プロジェクト

☆看板やプリントだけでなく、教員が上手にできるコツを遊具で直接教える機会を持つとよいのではないかな。

☆総合的な調整力も大事だが、基本的な体力作り（逆立ち、腕立てなど）も大事だと思う。

☆股関節が硬い子が多い。トイシが洋式になったためではないか。生活の中で鍛えられることが少なくなってきたので、意図的に体力づくりができる機会を作っていかなければならないのではないかな。

②あさなえしゃべり場

☆第1回目は中学校と共同開催していく。第2回目は平日開催の持久走大会の日を利用して参加者がもっと多くなるように調整する。

☆第2回は給食試食を兼ねたしゃべり場を開催していく。

☆保護者の方が話したい、話しやすい内容を検討していく。

③安全・安心の登下校

▲あいさつや一列歩行などは班によって差はある。特に班長を育てる必要がある。

▲班長として自分のやるべきことが明確に分かっていないのかもしれない。

▲ついて来れない子を待ってあげたり、自然とあいさつしたりと子どもたちの「思いやりの心」を育てることが何より大切である。

▲集合場所に時間通り来れない子どもは決まっている。保護者には現状を知ってもらい、時間を守れるように子どもを見送ってほしい。

☆学校だけではすべてを見守ることができない中で、子どもたちの「安全」のために保護者と地域全体が一緒になって、子どもたちと関わっていける取組みを考える。

—令和2年度取組案—



①浅江っ子体力向上プロジェクト（継続）

・計画から実施へ

②あさなえしゃべり場（継続）

・第1回目は中学校と共同開催する。

・第2回目は給食試食会を兼ね、他の行事と合わせられるように計画する。

③安全・安心の登下校（継続）

・小学校で重点的に指導していることを保護者と地域に伝えていく。（周知）

・交通ルールだけでなく、登校班の班長としての意識を高める取組みを行う。

・保護者の方が子どもたちの登下校の様子を見守れるような仕組み作り、または投げかけを行う。

④浅江っ子防犯デー（継続）

・月に1回の防犯ブザーの点検を行う。